

土庄町教育委員会

土庄町立豊島小学校

1 実践のテーマ

子どもにとっての「ふるさと」を見つめ、子ども自身とのかかわりを踏まえた地域素材の教材化による真正の学び及び郷土愛を育む教育実践

2 目標（第4学年社会科）

豊島の名所の一つである「唐櫃の清水」を約100年前に整備した郷土の先人中野喜三郎の功績の数々について、彼の銅像や顕彰碑等に直接取材することにより、当時の人々の生活の向上・発展に尽くした原動力に、ふるさとへの思いがあったことをつかむことができる。また、彼の功績を称え感謝の気持ちを後生まで伝えようとした人々の努力から、子ども自身がそれを引き継いでいく役割を担っていることに使命感をもつことができる。

3 内容

- (1) 地域教材用副読本に掲載されている先人の資料において、子どもと関わりのある人物が見当たらなかったため、教材開発として一次資料や二次資料を探し調査する。その際、文化財保護委員にも情報提供の協力を依頼する。
- (2) 教材研究を進めながら関係する素材から子どもと関わりのあるもの（今回は、「唐櫃の清水」）をピックアップし、単元導入部における意識のつながりを考慮した授業構想、単元計画を作成する。その際、文化財保護委員がゲストティーチャーとして授業に参加できるように調整する。
- (3) 「唐櫃の清水を整備した人に会いに行こう」という学習課題を設定し、文化財保護委員同行による校外学習として銅像や唐櫃の清水等の現地を訪ねる。そこでは、碑文を中心に彼の功績を読み解いていくが、経略のなかの国会議事堂建設や日本橋工事、笹子トンネル掘削業績等について調べるためにタブレット端末及びポケットWifi ルータを持参の上、利活用する。
- (4) 唐櫃の清水の整備に加え、集落中心地までの導水路を敷設した功績に関して、当時、その行程を手作業で水を運んでいた小学生の苦労を実際に体験する。
- (5) 単元後半では、「彼のすばらしさをたくさんの人に伝えよう」と、表現方法の一つとして替え歌を選び、作詞を進める。原曲は、豊島に関して半年前に放映されたNHK番組の主題歌である。



4 成果と課題

- これまでの地域教材用副読本等の資料を中心とした学習よりも格段に子どもの主体的な学びが展開され、目標を達成することができた。
- 学習評価として「知識・技能」等を中心にその方法を具体化していく必要がある。また、開発した教材を次年度以降も教育課程に位置づけ、発展的に継続していきたい。